

NPO法人総合福祉サポートセンターはだの

3 2 9 4  
みんなの ふくし

発行 NPO 法人総合福祉サポートセンターはだの  
発行責任者 山口浩  
秦野市緑町 16-3 秦野市保健福祉センター内  
☎0463-80-2940 FAX 0463-73-5039  
e-mail : npo-hadano@jupiter.ocn.ne.jp  
http://www6.ocn.ne.jp/~shougai3/

蒸し暑い日が増えてまいりましたが、皆さまはいかがお過ごしでしょうか？

今年度は法人開設 11 年目を迎え、大きな転換期を迎えましたので、たくさんのご報告を兼ねて今年度最初の「3294（みんなのふくし）」をお届け致します。

新理事長よりご挨拶

NPO 法人総合福祉サポートセンターはだの

理事長 山口浩

平成 28 年 6 月に開催された「特定非営利活動法人総合福祉サポートセンターはだの」の理事会において、理事長を拝命いたしました山口浩と申します。

私事ですが、障害者団体の役員として二十数年にわたり活動してまいりました。その間、障害児・者の保護者と共に様々な活動を通じて、障害児・者及びその保護者の生活上に取り組んでまいりました。取り組みの中で、地域社会との関わりが大事であることを学び、その関係から前理事長である香坂勇より理事長職を引き継いだ次第です。

この NPO 法人は「障害児・者が人権を守られ、地域で暮らすために、また、自分らしい生き方をするために」をモットーに日々活動しております。主な事業は秦野市より相談支援事業を受託し「障害福祉なんでも相談室」の運営、自主事業として法人後見の立場で「成年後見事業」、「防災支援事業」を担っております。今回、理事長という大役を仰せつかり、身の引き締まる思いです。私個人としては微力ですが、当法人の職員と共に全力を尽くしてまいります。

障害児・者の取り巻く環境もその時代で変化があり、平成 24 年 10 月より「障害者虐待防止法」、平成 25 年 4 月より「障害者総合支援法」が施行されました。障害児・者が地域で人権を保障されるようになり、安心して暮らせる地域作りの課題も変わりつつあります。

当法人が大事にしている「地域生活支援」、これは、秦野市在住・在勤の利用者の皆様を中心とし、他の事業所から独立した「中立公平・公正」な立場で「総合福祉サポートセンターはだの」での相談支援事業や成年後見事業を行ってまいります。防災支援事業につきましては、いざ…！という時に備え、秦野市における防災支援体制作りをするものです。私自身も秦野市の有志で結成された「秦野市支援隊（※1）」の一員として、東日本大震災の被災地や茨城県鬼怒川決壊の被災地を訪れ、炊き出しや支援物資配布を手伝わせて頂きました。これらの経験も踏まえながら、有事の際の対応など実際に役立つ支援を関係各所と連携しながら取り組んでまいります。

また、最近の社会情勢で障害者を排除しようという思想を持つ者が出てきて、尊い命を奪うといったような悲しい事件がありました。決して許される行為ではなく、激しい憤りを感じており、気持ちも新たに取り組む所存です。

前理事長の香坂勇が掲げた事業目的を継承すると共に、さらに職員と一緒により良い福祉環境に向け精進してまいります。引き続き、ご指導ご支援を賜りたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

※1 秦野市支援隊…秦野市手をつなぐ育成会が主体となり、秦野市民の有志の方たち（一般市民・行政・事業所の職員・当事者団体役員等）の集まり。

理事長交代に伴い、当法人職員もさらに一丸となって、法人を盛り上げていきたいと思っています。

当法人を支えて下さる皆さまの応援を力に、職員一同全力で頑張りますので、よろしくお願い致します！

香坂前理事長より退任ご挨拶

長期間の行政との調整の末、平成 18 年 1 月「NPO 法人総合福祉サポートセンターはだの」が設立し、本年は節目の 10 周年を迎えました。この間、事業の運営を支えて下さった役員、職員の皆様方をはじめ、関係する多くの方々に心より感謝と御礼を申し上げます。

法人を 72 歳で立ち上げ 10 年が経過し、平成 28 年度定期総会を迎え、82 歳となり退任を決意した今、当時の設立に向けての強い思いが蘇ってきます。

当時、私は秦野市及び神奈川県の手をつなぐ育成会の会長として、行政との連携を通して様々な制度の変革期に福祉活動の推進役の一員として、非常に有意義な活動をしておりました。

その中で、障害者の権利擁護の視点から、親亡きあとの対応を視野に成年後見（法人後見事業）の立ち上げを模索し、先駆的に自主事業として取り組みました。同時に秦野市より相談支援事業の委託を受け、行政及び関係者のご支援のもと民間の「NPO 法人」として立ち上げに至ったのです。

この法人を運営するにあたり、特に委託事業である相談支援事業の展開については、開設当初、はだの障害福祉ネットワーク（HSN）の協力や支援も大きく、その功績に感謝しています。

平成 28 年度は設立経過 10 周年の節目の年であり、設立時の初期目標は、ほぼ達成できたと思っております。残された課題はまだありますが、一定の評価はしています。

私も現在 82 歳となり、体調面にも幾分支障を来す点もあります。幸い後継者の体制も確保でき、これを機に後任に託し退任させていただきます。特に成年後見事業は事業の性格上、将来的にも事業の安定性、信頼性、継続性の担保が非常に重要であります。関係者の皆さまには今後共、引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い致します。

平成 27 年度 会計報告



平成27年度 収支決算書

特定非営利活動法人 総合福祉サポートセンターはだの (H27.4.1~H28.3.31)

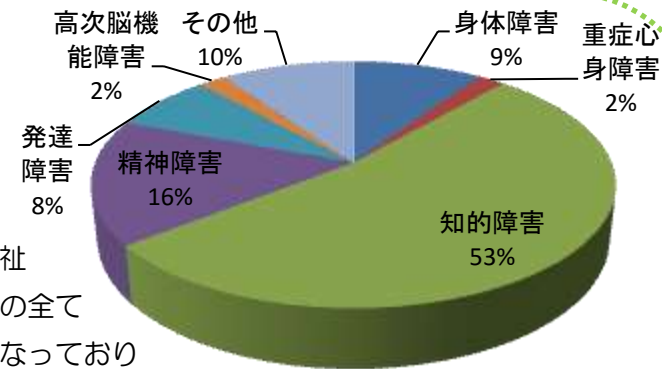
					単位・円
科目	27年度補正予算	27年度決算	差異	摘要	
収入	業務委託金収入	16,000,000	16,000,000	0	秦野市障害者等相談支援事業委託業務
	事業収入	10,161,450	10,243,279	81,829	計画相談 成年後見報酬 障害程度区分認定調査
	補助事業等収入	1,575,000	2,265,000	690,000	
	会費収入	296,000	350,000	54,000	正会員 賛助会員
	雑収入	137,080	248,696	111,616	寄附金 利息 退職金共済補助金
合計	28,169,530	29,106,975	937,445		
支出	人件費支出	23,963,300	23,621,636	△ 341,664	
	事務費支出	4,206,230	3,999,982	△ 206,248	
	当期収支差額		1,485,357	1,485,357	
	合計	28,169,530	29,106,975	937,445	



# 平成27年度 事業報告ダイジェスト

## 1. 相談支援事業

平成27年度に当相談室を利用した障害者の割合は右のグラフのとおりで、精神障害の割合が減少し、発達障害の割合が増加傾向にあります。その他の障害については大きな変化はありませんでした。



相談内容については下記の表の通りです。昨年度同様、福祉サービス利用に関する相談が委託相談、基幹相談、計画相談の全てで圧倒的に多くなっております。その中で、入所相談が多くなっており成人して児童施設を利用している方や強度行動障害の方、高齢の方のニーズが高くなってきています。他には経済的な相談もあり、はだの地域福祉総合相談センター「きゃっち。」と協働するケースが複数ありました。また複数課題を抱えるケースの相談も多く、他機関や他分野の事業所等と連携して支援を行いました。

	住居	日常生活	家計・経済	就労	保健・療育・教育	健康・医療
件数	98	603	312	394	143	663
	家族関係・人間関係	社会参加・余暇活動	福祉サービス利用	障害や病状理解	精神的不安	ボランティア
件数	389	136	2,538	72	468	74
	自立生活・地域生活移行	権利擁護	子育て	その他	合計	
件数	32	110	14	17	6,063	

## 2. 成年後見事業

平成27年度末現在で35名（後見類型32名、保佐類型3名）の方の受任をしております。例年同様、県内NPO法人で最多の受任数となっております。

当法人成年後見事業は身上監護に重きを置いて活動しており、昨年度も身上監護が活動の81%を占めています。

特に、被後見人のみならず家族支援が必要なケースが増えており、関係機関との連携に多くの時間をかけました。

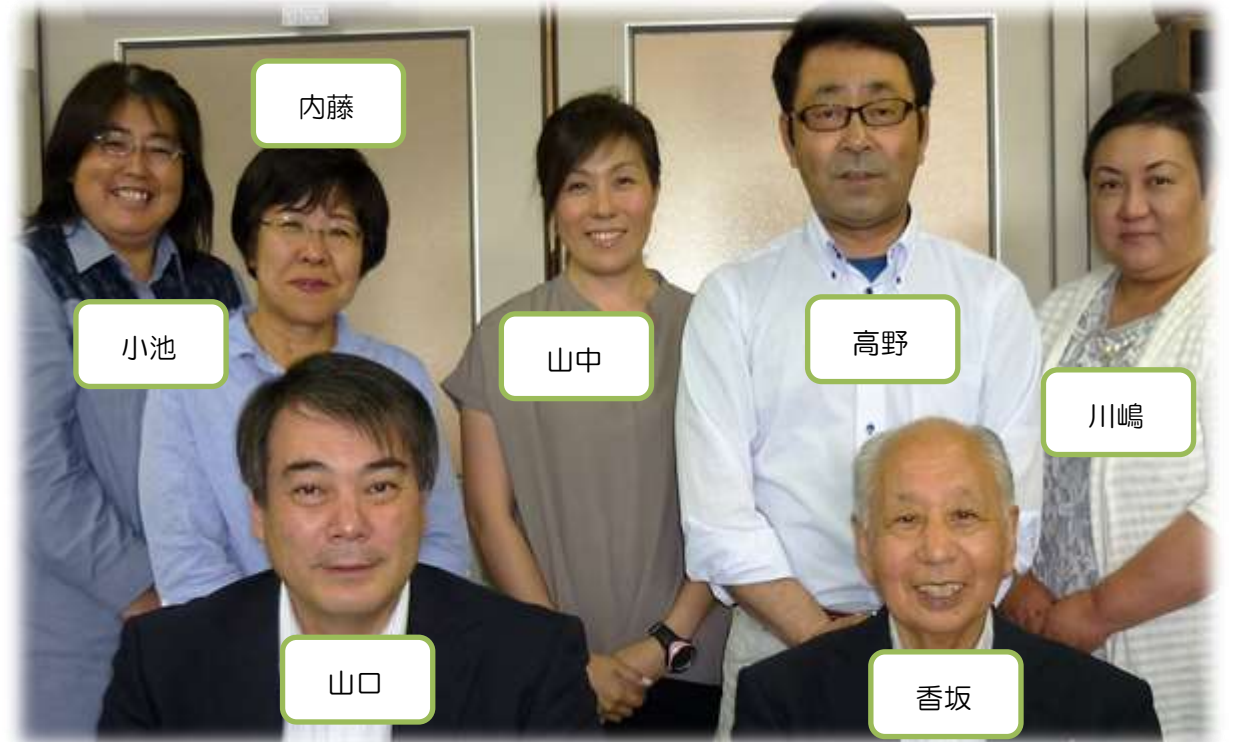
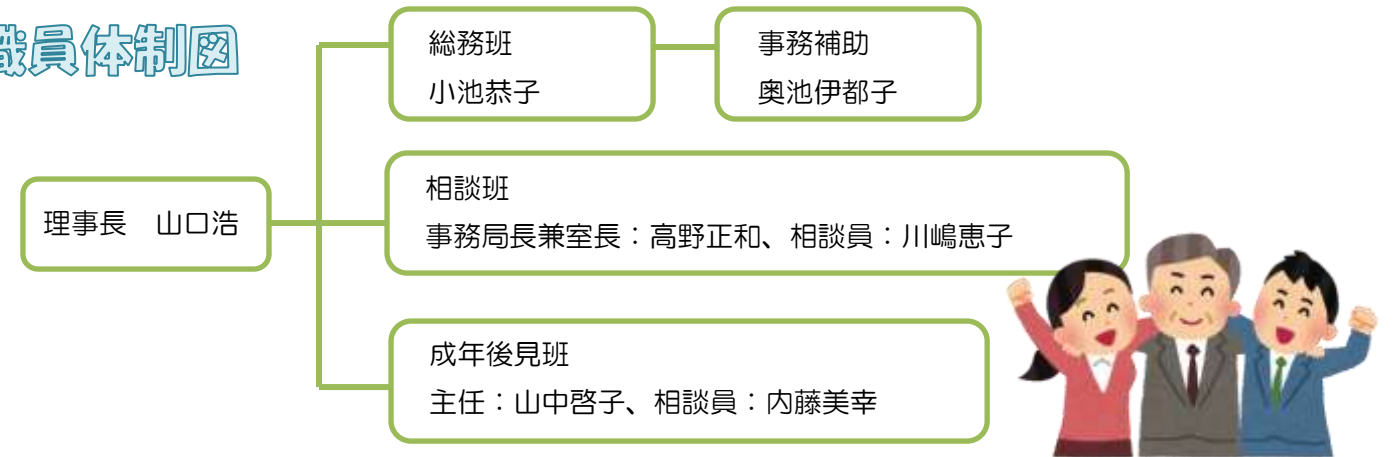
尚、家庭裁判所への全受任者の定期報告も終わっております。

その他、大きく変わった点としては平成27年10月に秦野市社会福祉協議会内に「秦野市成年後見利用支援センター」が開設され、成年後見に関する相談及び普及啓発を担うこととなり、当法人は受任団体としての活動に専念することが出来るようになったため活動件数全体の97%を受任者の為の活動に充てる事が出来ました。

今年度も他機関と連携しながら、被後見人の皆さまの生活を守っていききたいと思います。

	活動内容	活動件数
受任	1. 身上監護	3,223
	2. 金銭管理	616
	3. 相談	30
申立て	4. 相談	0
	5. 申立支援	11
相談	6. 制度概要	11
	7. 申立方法	6
	8. 候補者について	10
	9. 相続について	1
	10. 後見業務について	2
	11. 受任依頼	4
	12. 外部機関との連絡調整	25
	13. その他	5
	普及啓発	14. ミニ講座等
	計	3,964

## 職員体制図



## お知らせ

- ・賛助会員（一口2,000円）を募集しております。現在、多くの皆さまに二口以上のご協力をいただいております。職員一同、心より御礼申し上げます。賛助会員につきましては総務：小池まで、お気軽にお問合せ下さい。
- ・平成28年3月末、山田愛相談員が一身上の都合により退職致しました。後任の担当相談員につきましては、相談班（高野、川嶋）までお問合せ下さい。
- ・現在、ホームページが引っ越し作業中の為、閲覧できない状況になっております。再開しましたら、改めて皆様にお知らせ致しますので、楽しみに…。

## 編集後記

本年7月より理事長が交代し、新理事長の下、気持ちを新たに新体制でのスタートを切った私たちですが、今まで以上に職員一丸となり活動していく所存です。先日は、この神奈川県内で非常に痛ましい事件もありましたが、私たち職員はこれからも、障害を持った方々の権利擁護を念頭に、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう全力で皆さまの生活をサポート致します。不安に思うことや聞いて欲しいこと…いつでも受け止めますので、これからもお気軽にご相談下さい！

